

国民大運動行動報告

第010号
2018年
6月7日

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」
国民大運動実行委員会
〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～第 196 通常国会 国民大運動・安保破棄中実委・中央社保協主催6・6定例国会行動～

安倍内閣即刻退陣！悪法阻止、廃案まで 市民と野党の共闘でたたかい抜こう！



会期末まであとわずかの国会終盤、何としても今国会でカジノ実施法案を通そうとの与党の策動のもとで会期の延長も狙われています。安倍首相夫妻による国政私物化をめぐる森友学園への国有地払い下げに関わる公文書改ざん、記録の廃棄の問題では、大阪地検特捜部が佐川前国税庁長官らを不起訴処分しました。しかし、説明不十分なものの財務省の調査報告書や、日本共産党の追及チームによる新たな文書の公表など疑惑解明への追い風となる中、第 196 通常国会第 10 回目の定例国会行動が、国民大運動実行委員会 渡辺正道事務局長の司会のもとで行われました。梅雨入りと思われる朝からの小雨の中、参議院会館前には安倍政権の退陣を求めて250人以上が集まりました。

<発言概要>

安倍首相も麻生大臣もアウト！

「安倍政権は即刻退陣」をつきつけよう！

主催者挨拶を行った新日本婦人の会 笠井貴美代会長は、「改ざん国会」終盤で森友問題をめぐる財務省の報告文書、共産党の決定的文書により、生々しい口裏合わせが明らかになり「安倍首相も麻生大臣もアウト、安倍政権は即刻退陣を」と訴え、強行しようとしているカジノ、働き方改革、TPP 法案について「一部の大型企业のために国民をいのちを犠牲にして働かせ、果ては



ギャンブルで人生を狂わせ、地域社会を丸ごと壊すもので絶対に許すわけにはいかない」とつよく批判した。嘘をつきとおす安倍首相について「権力者の嘘がどれだけ行政や多くの人々を巻き込み、日本を壊し腐らすか」と批判し、「悪法阻止、安倍政権退陣へと市民と野党の共闘を強め運動を上げよう」と、新潟県知事選への協力とともにつよく呼びかけた。

安倍さんを倒して、嘘のない正直な政治を国民の手でつくろう！



国会報告を行った日本共産党 山下芳生参議院議員は、森友・加計学園の疑惑問題で新たな文書により、安倍夫妻の関与がますます明らかになる中、「安倍首相がまず嘘をついた、その安倍さんの嘘を隠し守るために周りの人々が次々と嘘をついている」と指摘した。「働き方改革」の高プロ、残業代ゼロ制度についても「ごく一握りの高額所得者の話ではない」と矛盾点を明らかにした上で、「こんな嘘つき政府が、国民の暮らしに重大な影響を与える『働かせ方大改悪』やカジノや TPP 関連法案を数の力で強行するなどもってのほか」とつよく批判し、「野党共闘で悪法は徹底審議し廃案に追い込み、疑惑の真相を明らかにしよう。来年の参院選では本気の野党共闘を実現して、嘘のない正直な政治を国民の手でつくろう」と呼びかけた。

全日本民医連 宮澤洋子常任理事は、「一つひとつの署名に込められた、私たちの熱い思いをぜひ国会に届けてください」と、憲法署名や消費税増税反対など寄せられた 188,222 人分の署名を山下議員に手渡した。



連帯の力で必ず廃案！

嘘まみれの働き方改革はデタラメ法案！！



全労連労働法制闘争本部 三木陵一本部長（JMITU 中央執行委員長）は、「国会が山場を迎えており、この間労働法制をはじめ様々な法案が大きな局面を迎えている」と報告。「データねつ造にはじまり、高プロは生産性向上と言いながら過労死激増のデタラメ法案である」と批判し、「仕事は助け合いによって効率上がるもの。このままではものづくり産業もおかしくなる。嘘で塗り固められた働き方改革関連法案を、国民の要求実現のため退陣に向けたうねりの中で必ず廃案にするべく、すべての国民と連帯し奮闘する」と決意を語った。

国民のいのちや暮らしを守る、

さまざまな制度をなし崩しにする TPP11 は廃案に！

農民連 吉川利明事務局長は、TPP11 は衆議院での審議も不十分なまま、1日に参議院で審議入りし僅かな審議時間で通そうとしていることを報告し、「こんな法案を通してしまったら、日本の農業、畜産、酪農業へ大きな打撃となる」と、牛肉の輸入量とセーフガードのしくみを例に説明し、「多くの国民にこうした事実を知って頂きたい」と訴えた。衆議院の不十分な審議の中でも TPP11 が農業だけでなく、輸入農産物や遺伝子組み換え食品、医薬品や医療保険など「国民のいのちと暮らしを守るさまざまな制度をなし崩しにするものだ」と批判し、廃案にさせるまでたたかいぬく決意をつよく訴えた。



戦争 NO の思いを込めた署名提出！安倍退陣集会で憲法守ろう！！

憲法共同センター 長尾ゆりさん(全労連副議長)は、提出集会を翌日に控えた 3000 万人署名について、「どれもきっちり書かれた、思いのこもった署名。二度と戦争しないと決めた 9 条を変えようとしている安倍政権退陣の意味も持って、1350 万人を超えて増え続けている。署名を軸に改憲スケジュールを狂わせるため、さらに積み上げましょう」と呼びかけた。また、「安倍政権退陣まであと一押し。当たり前の政治を取り戻すため、怒りの声よ、届け！と 23 団体が結集した 6・10 大行動を大きく成功させ、安倍ノー記念日となるよう奮闘しましょう」と語り、決意表明した。



私たちの怒りと要求を結集させ、

6・10 国会正門前大行動を大成功させよう！



行動提起を行った中央社会保障推進協議会 山口一秀事務局長は、「会期末まであとわずか、安倍内閣退陣、「働き方改革」法案、TPP 法案何としても阻止、廃案までたたかい抜こう」と訴え、「3,000 万人署名提出集会(7日)、6・10 大行動、「働き方改革」と TPP の共同座り込み行動(14日)を私たちの力で必ず成功させよう」と呼びかけた。また、会期延長の策動のもとでの国会行動については、日程延長に応じて改めて提起することもあわせて呼びかけた。

おしまいに、全日本教職員組合 阿部のぞみ中央執行委員の音頭により、参加者全員で「安倍内閣は総辞職しろ！」「会期延長は許さない！」等と国会にむかって大きく声を響かせた。